【ポスティング業界の課題】GPS導入だけでは安心できない？ポスティングホールディングスが提唱する「信頼できる配布管理」

～GPSによる移動履歴の記録と現地調査を組み合わせ、「配ったはず」から「配布状況を確認できる」ポスティングへ～

株式会社ポスティングホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役：杉尾和洋、以下「当社」）は、ポスティング業界における配布品質の透明性向上を目指し、GPSによる配布記録と現地調査を組み合わせた品質管理体制を推進しています。

ポスティング業界では、GPSを活用した配布管理が行われています。しかし、GPSを導入しているという事実だけで、すべてのチラシが適切に配布されたと証明できるわけではありません。
重要なのは、GPSを使用しているかどうかではなく、取得した記録をどのように確認し、配布品質の管理につなげているかという点です。
当社では、GPSによる移動履歴の記録、リアルタイムでの進捗確認、管理部門による現地調査、配布スタッフへの教育を組み合わせ、クライアント企業が安心して依頼できるポスティングサービスの提供に取り組んでいます。

■ GPSを導入していても、配布品質に差が生まれる理由

ポスティングを依頼するクライアント企業にとって、大きな不安の一つは、「依頼したチラシが、本当に

指定したエリアへ配布されているのか」という点です。
GPSを活用すれば、配布スタッフが移動した場所や時間を記録できます。
しかし、GPSの記録があることと、すべてのチラシが適切に投函されたことは同じではありません。
例えば、GPSの移動履歴だけでは、以下のような点を完全に把握することは困難です。

- 指定した配布エリアに実際にチラシが投函されたか
- 投函禁止物件への配布が行われていないか
- 条件に沿って丁寧に配布されているか
- 配布部数と現場の状況に整合性があるか

つまり、GPSを「持っているかどうか」ではなく、GPSの記録をどのように検証するかが重要になります。
当社では、GPSを単なる位置情報の記録ツールとしてではなく、配布品質を管理するための仕組みの一つとして位置付けています。

■「適切なGPS管理」と「不十分なGPS管理」の違いとは？

ポスティングにおけるGPS管理の品質を判断するうえで重要なのは、移動履歴の記録だけでなく、その後の確認・検証・改善まで行われているかという点です。

管理上の一般的な課題と、当社の取り組みを比較すると、次のようになります。

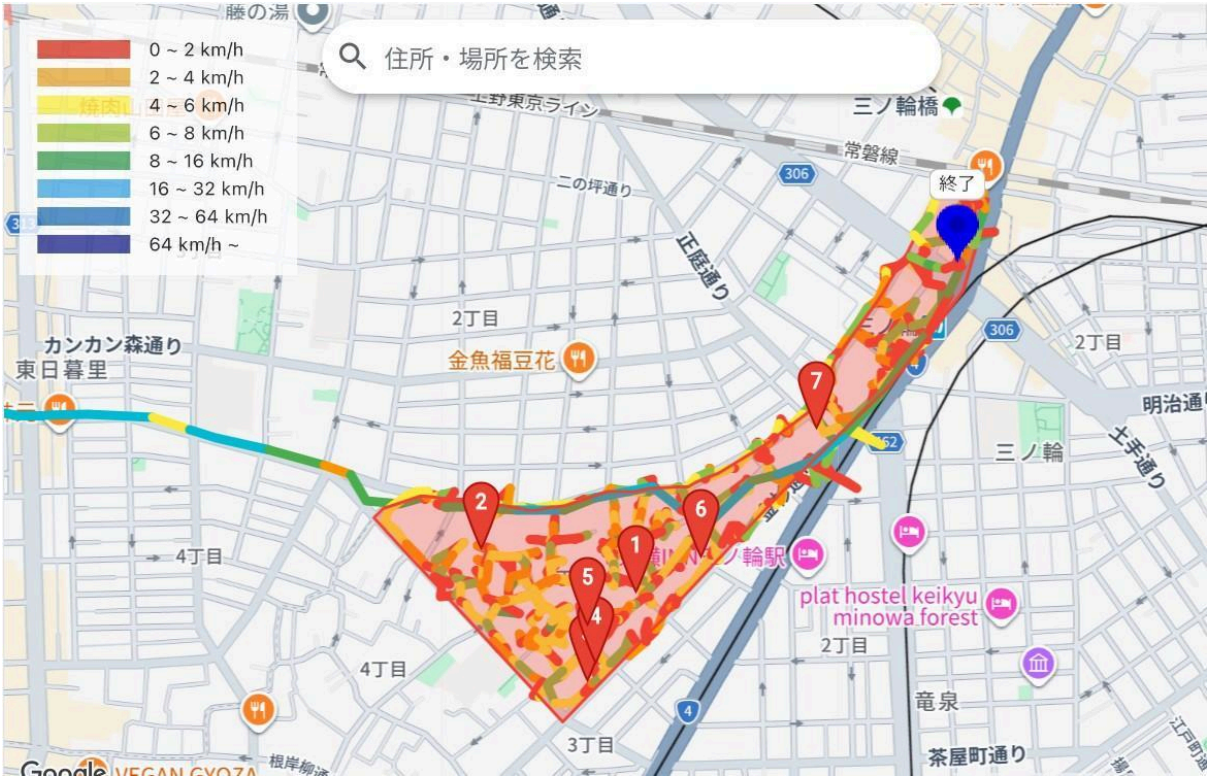
確認の観点	管理が不十分となりやすいケース	当社の取り組み
移動履歴	データを記録するのみで、ルートを確認していない	配布ルートを記録・確認
進捗確認	配布中の状況を把握していない	配布中の進捗を管理画面で確認
現地調査	GPS記録だけで判断している	管理部門が現地を確認
配布報告	完了報告のみ	部数・日時を報告
品質改善	記録を改善に活用していない	記録と現地状況を照合

※「管理が不十分となりやすいケース」は、管理上の課題を説明するための一般的な例であり、特定の企業の運用を評価するものではありません。「当社の取り組み」は、当社が自社の運用として実施している内容です。

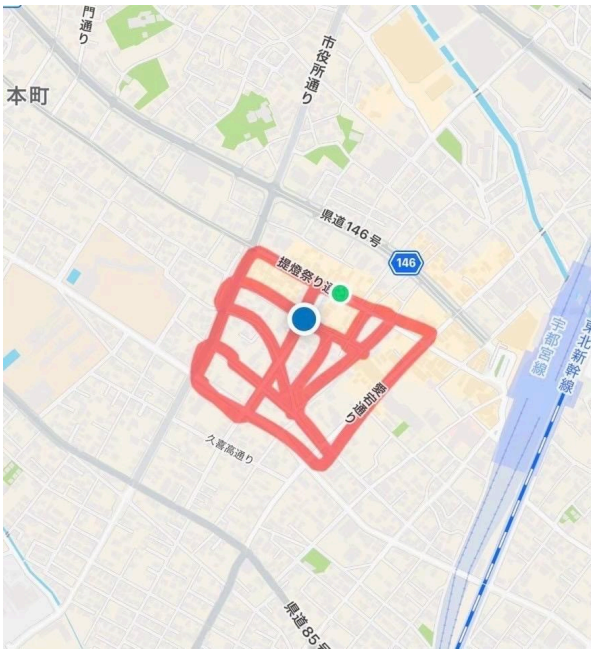
GPSのデータを取得していても、その内容を十分に確認していなければ、配布状況の把握や品質改善につながらない可能性があります。

一方、取得したGPS記録を確認し、現地調査や配布実績と照合することで、より透明性の高い品質管理を実現しやすくなります。
当社は、GPSの機能そのものだけでなく、それを活用する管理体制こそが、配布品質を左右する重要な要素だと考えています。

【当社のリアルタイム**GPS**管理画面】



【画像挿入位置：不十分な**GPS**のイメージ。他社の画面は使用せず、作例の場合は「イメージ」と明記】（不十分なGPS）





■ ポスティングホールディングスが実践する3つの品質管理

1. GPSによる配布ルートの記録

当社では、配布スタッフがGPS端末を携帯し、稼働中の移動履歴を記録しています。
配布スタッフが「いつ、どこを回ったのか」をデータとして残すことで、配布完了の自己申告だけに依存しない管理を目指しています。
配布ルートを確認できることは、クライアント企業に対する説明責任を果たすうえでも重要な仕組みです。

2. リアルタイムでの配布進捗管理

GPSによる位置情報を管理画面で確認し、配布スタッフの稼働状況や進捗を把握できる体制を整えています。
配布完了後に履歴を確認するだけではなく、配布中の状況を把握することで、必要に応じた確認や対応につなげています。

3. GPSだけに依存しない現地調査

GPSで確認できるのは、あくまでスタッフの位置情報や移動履歴です。
そのため、当社では管理部門による現地調査を実施しています。
投函状況や配布ルールの遵守など、位置情報だけでは判断できない部分を確認し、品質管理の実効性向上を図っています。
「GPSによるデータ管理」と「人の目による現地確認」を組み合わせることが、当社の品質管理の基本方針です。

■ GPS管理の目的は「監視」ではなく「配布品質の確認・可視化」

当社が重視しているのは、単に配布スタッフの位置情報を把握することではありません。
GPSで取得したデータを適切に管理し、クライアント企業が安心できる環境を整えることです。
GPSには、チラシ1枚ごとの投函を直接証明できないという技術的な限界があります。
だからこそ当社では、GPSによる記録に加え、現地調査、配布部数の管理、スタッフ教育などを組み合わせることが重要だと考えています。
こうした複数の確認手段を取り入れることで、配布状況の透明性を高め、クライアント企業との信頼関係の構築につなげています。

■ 代表取締役CEO 杉尾和洋 コメント

ポスティング業界において、GPSの導入は配布品質の透明性を高めるための重要な取り組みです。
しかし、GPSを導入しているという事実だけで、お客様に安心していただけるわけではありません。

大切なのは、取得したGPSデータをどのように活用し、実際の配布品質の向上につなげていくかということです。

当社では、GPSによる配布状況の可視化に加え、現地調査や配布スタッフへの教育を通じて、配布品質の管理体制を強化しています。

私たちが目指しているのは、単に『チラシを配る会社』ではなく、お客様が安心して広告を任せられる、信頼性の高いポスティング会社です。

今後も、テクノロジーと現場の管理体制を掛け合わせ、ポスティング業界全体の透明性と信頼性の向上に貢献してまいります。

■ 株式会社ポスティングホールディングスについて

会社名：株式会社ポスティングホールディングス
代表取締役CEO：杉尾和洋
所在地：東京都港区芝2-2-12 Daiwa浜松町スクエア 5F,6F
事業内容：ポスティング事業、エリアマーケティング分析、広告物の企画・制作・印刷、配布効果測定など

公式サイト：https://postech.co.jp/
GPS配布証明サービス：https://postech.co.jp/service-gps

＜本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先＞
株式会社ポスティングホールディングス
TEL：03-4400-6165
E-mail：info@postech.co.jp
URL：https://postech.co.jp/